

公益社団法人 大和高田市シルバー人材センター
令和元年度 事業報告

我が国の経済は、平成24年12月以降緩やかな回復基調が続いておりましたが、令和2年初頭から、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、一転して低調傾向を示しております。

当シルバー人材センターにおきましても、各種イベントの自粛や施設の臨時休館などにより、少なからずその影響を受けています。

また、元年8月には市営の駐輪場・駐車場の管理運営における不適正処理事案が発覚し、皆様にはご心配とご迷惑をおかけいたしました。市のご配慮と皆様のご協力により年度内に一応の決着を図ることができ、再スタートを切っております。

このように、令和2年度に向けて少なからず課題は残るものの、元年度におきましては、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員、役職員一丸となり事業推進に取り組んだ結果、一定の成果を得たところです。

その結果、事業運営面の実績につきましては、請負・委任に係る契約金額は対前年度比3.8%増と伸びておりますが、受託事業件数は前年度比-8件の減、就業率については0.8ポイント減少いたしました。

また、労働者派遣事業につきましては、受注件数は前年度に比べて9件増の31件、契約金額も約17.6%増と確実な伸びを示しております。

一方、会員数については、男性が大きく昨年度実績を下回り、女性も1名減だったことから、平成29年度以来の300人台に後退してしまいました。

安全就業につきましては、就業現場への巡回回数を増やすとともに、安全就業対策研修会やドライビングコンテストへ参加するなど安全対策に努めましたが、就業時及びその途上においての傷害事故が3件発生いたしました。

また飛び石による賠償事故が2件起こっており、残念ながら傷害・賠償を問わず事故が無くならない状況です。

「安全はすべてに優先する。」ことから、今後ともなお一層会員及び役職員が互いに連携、協力して、さらなる安全就業の徹底と事故防止対策に努めてまいります。

また、先ほど述べました市営駐輪場・駐車場の管理運営における不適正処理事案を教訓として、二度ととこういったことが起こら無いようこれまで以上に

コンプライアンスの徹底を図り、公平かつ適正な就業を推進いたします。

以下、令和元年度事業の概要について報告いたします。

1. 会員数（令和2年3月末現在）

男性会員	310名	
<u>女性会員</u>	<u>81名</u>	
合計	391名	（前年度対比－3.2%）

2. 受託事業の実績（請負・委任によるもの）

受託事業件数	1,886件	（対前年度 －8件）
就業延日人員	35,137名	（前年度対比－0.6%）
契約金額	156,398,936円	（前年度対比＋3.8%）
会員就業率	84.1%	（前年度対比－0.8P）

3. 普及啓発活動

啓発リーフレットを市内の全世帯及び事業所等に配布して、一般家庭、事業所などへの就業開拓活動を行なうとともに、スーパーマーケット等において会員募集や仕事依頼のチラシ配布の実施や、市主催の元気フェスタに参加するなどして普及啓発を行ないました。

4. 社会参加活動等

小学校児童の下校時における立哨活動や、元気ウィークでのJR東側広場におけるポン菓子無料配布などを通じて世代間交流を図るなど、地域社会への貢献を図りました。

5. 安全就業の推進

「安全はすべてに優先する」という認識のもと、安全・適正就業委員及び推進員による就業現場への安全パトロールや、職員による現場巡視を頻繁に行うなどして、事故防止に向けた対策を検討し実施いたしました。

また、奈良県シルバー人材センター協議会主催の安全就業対策研修会への参加や、交通事故防止のため、ドライビングコンテスト(安全運転コンテスト)にも参加し、自動車の運転技術向上や交通法規の再認識並びに安全運転への意識付けなどに努めました。

6. 労働者派遣事業の推進

適正就業の推進並びに多様化する就業ニーズに対応する為、請負・委任契約による就業に加え、労働者派遣事業を積極的に活用して、就業機会の拡大と地域社会の活性化を図りました。

派遣事業の実績としましては、受注件数は22件で、延べ4,305人日就労し、契約金額は前年比17.6%増の22,166,160円となりました。

7. 高齢者向けスマートフォン教室の開催

スマートフォンの基本的な使い方、便利な機能、注意すべき点などを通信事業者の協力のもと開催し、センターの正会員に対しての啓発を図りました。